



吉川三津子 議員

メールで子育て情報の発信を

質問

子育て支援センターの利用者は増えているものの、利用者が増えているものの、利用者が固定化してきている。しかし、一方で、家に閉じこもり、孤立した育児をし



ている家庭もある。

愛知県は、こうした問題に着目し、今年度から「子育て情報・支援ネットワーク構築事業」という子育て中の家庭への情報発信事業をはじめた。この事業に取り組む自治体には、100%県から補助金を出すというものである。

日進市では、この補助金で、携帯メールを使って子育て情報を一斉発信するしくみを作っている。

愛西市では、ホームページなどネットでの配信も不十分であると思うが、市として取り組む考えはあるか。

虐待防止にもつながる事業なので、前向きに検討してほしいが。

福祉部長

育児不安が重なると、虐待のリスクがあがる。インターネットやメールを使って、家にいながら身近な子育て情報を得られることは、安心な楽しい子育てにつながる。県の研修会が開催されるので勉強していく。

ケーブルテレビは、共同放映で

質問

議会放映をどうするかの問題から、先の議会で、愛西チャンネルを検討する話ができた。

愛西チャンネルとなると、市独自の番組も作らねばならず、ひとつの番組を作るのに約50万円かかると聞いている。更に、同じ番組を毎日流し続けることもできないので、かなりの費用がかかる。市のケーブルテレビへの考え方は。

企画部長

愛西市独自のチャンネルを作ると、かなり経費がかかることをつかんでいる。市の情報発信の手段として、ホームページ、広報誌、同報無線、メール発信などがあるが、ケーブルテレビは災害情報などを発信していく手段と考えている。

質問

高齢者、目の不自由な方、耳の不自由な方など、災害時には、いろいろな人や場面を考えた、情報発信の方法を考えていかねばならない。

しかし、ケーブルテレビにおいて市単独のチャンネルを持つことは、市の財政から無理がある。周辺自治体との共同放映を進めるべきと考えますが、市の考えは。

企画部長

他の自治体との共同運営的なものを考えていきたい。

